

議会だより

No.4

12月定例会

平成19年2月11日発行

《目次》

- ・補正予算は2億510万円可決 P2
- ・条例改正 P3
- ・委員会メモ P4
- ・14議員が市政を問う P5

あさくさ

発行 岡山県浅口市議会 編集 広報委員会 〒719-0295

岡山県浅口市鴨方町六条院中3050番地
電話(0865)44-7010

写真：いつもの通学路(かみがた町家公園)

今井誠造氏撮影



補正予算

2億510万円可決

平成17年度 決算認定

12月定例会

十二月定例会が、五日から二十一日まで開かれました。市長から提出された条例や、総額二億五千万円の補正予算など二十二議案を可決。採決では「後期高齢者医療広域連合の設置については、反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決となりました。その他二十一件はすべて全会一致で可決しました。

九月定例会で継続審査となっていた平成十七年度の旧三町及び浅口市の各会計の決算は、五日に採決しました。

浅口市一般会計決算は不認定となり、浅口市公共下水道事業特別会計は、起立多数で、その外三十二件の決算は、全会一致でそれぞれ認定しました。

一般会計補正予算

遙照山簡易保険保養センター取得
に八千五百万円

○総務費

遙照山簡易保険保養センターの購入に八千五百万円。

○土木費

寄島干拓地内に建設するフットサル場（五人で行うミニサッカー）整備事業工事請負費に千二百十三万七千円。

○民生費

平成二十年度から始まる後期高齢者医療の広域連合設立準備委員会負担金に百十三万八千円。

保育園児増加による児童措置費委託料に七百三十八万七千円。

特別会計補正予算

○介護保険

居宅介護サービス計画給付費に四千七百五十六万七千円、地域密着型介護サービス給付費千三百二万円の減額。

○公共下水道事業

施設整備費六千三百十一万九千円の減額。



市が購入する予定の保養センター

○水道事業

人件費を五百三十五万円減額。

**平成十七年度
決算認定**

平成十七年度旧三町の決算は、決算特別委員会を設置し、審査しました。

主な内容は、

- ・国民健康保険税の滞納は、市町村税整理組合へ委託するなど滞納整理に努めるように。

- ・水道工事の発注に関して、市長の出席を求め、指名入札により良き方向を目指したいとの答弁がありました。

- ・水道料金の不納欠損があり、未収金回収対策の強化を図るよう。

- ・町営二輪車駐車場管理で、赤字を出しながら運営するのはいかがなものかとの意見があり、赤字を減

らすよう創意工夫をしたいとの答弁がありました。

旧三町の二十四件の決算は、すべて認定しました。



金光駅南駐輪場

平成十七年度の浅口市決算は、各常任委員会で審査しました。

- ・旧金光町の町道修繕工事に関して、不適切な公金の支出が認められたとの監査意見があり、平成十七年度浅口市一般会計は、不認定としました。

また、公共下水道事業特別会計は、委員会では不認定としましたが、本会議では、認定しました。

その他の決算八件はすべて認定しました。

条例

○浅口市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定
(可決)

高度に専門性を備えた人材や、期間が限定される特定の行政ニーズに対応できる人材を任期を定めて採用する制度です。

○浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (可決)

旧三町で異なっていた土木委員の報酬額を統一し、新たに廃棄物減量等推進審議会の委員等の報酬を定めます。

○浅口市営駐車場条例の一部改正 (可決)

鴨方駅西臨時駐車場及び鴨方本町駐車場の駐車区画の、普通車・軽自動車の区分を廃止し、駐車料金を統一します。

○浅口市公園・体育施設条例の一部改正 (可決)

寄島干拓地にフットサル場を整備し、使用料等を定めます。

報告・同意

○岡山県後期高齢者医療広域連合の設置について (可決)

後期高齢者医療の事務を処理するため、岡山県内すべての市町村が加入する広域連合を設けます。

議案質疑

桑野和夫議員
広域連合の議員は十

五人ですが、市民からの意見等が反映できませんか。

生活環境部長

議員数が少ないのは経費の問題もあり、市民からの苦情等は市役所が受けます。

反対討論

桑野和夫議員

平成二十年度から施行される後期高齢者医療制度は、医療給付費が増えれば、保険料が値上げされ、高齢者の受診抑制につながります。これは日本の医療制度を覆すもので賛成できません。



フットサル建設予定地(寄島干拓地内)

○指定管理者の指定について (可決)

浅口市植木の里エコセンター(金光町大谷)の指定管理者に金光町植木協同組合を指定します。

○長期継続契約の締結

市内小中学校の印刷機・パソコン、市役所の複写機リース契約を五年間締結しました。

請願・陳情

次の請願・陳情は採択し、市長に送付しました。

・岡山県の「医療費公費負担制度」見直しに伴う重度心身障害者に対する支援策についての請願書(提出者：浅口市身体障害者福祉協会)
・単県医療費公費助成制度の貴市での一部負担をお願いする陳情書(提出者：井笠地区腎友会外)



植木の里エコセンター(金光町大谷)

建設工事委託の変更

寄島浄化センター建設工事は、設計変更および工事費の入札残が生じたことにより委託金額を減額しました。

人事

○人権擁護委員の推薦についての意見

議会の意見として、金光英子氏(金光町大谷)を、引き続き適任としました。任期は平成十九年四月一日から三年間です。



金光英子氏

一部事務組合の人事

倉敷西部清掃施設組合議会副議長に、畑中知時議員が就任しました。



畑中知時議員

監査委員辞職勧告決議が可決

12月11日、香取議員に対する市監査委員の
辞職を求める決議案が、提出されました。

趣旨

「本年六月二十九日、浅口市議会定例会において、平成十七年度旧金光町発注の金地一号線道路修繕工事における監査請求に関する決議がなされました。このことにより、本来の任である監査事務につき除外となる等、一部監査委員として支障をきたす結果となった。香取良勝議員が、監査職務を遂行することができなかったことは、監査委員として、道義的責任が問われても仕方がありません。監査委員としては、人物高潔を旨とするべき立場であり、監査の対象となつてはならない。よって、監査委員たるに適しないものと判断され、浅口市監査委員の辞職を求めるものであります。」

香取監査委員の弁明

私は、市民のために正しいことを正々堂々とやっている。一切やめる必要もなければ、市民の議員でございませう。きちっとした監査をやつてまいりたいというふうに考えますので、この決議案には同意できません。

結果

全員起立により、本決議案は可決されました。

委員会メモ

各委員会で、執行部から説明等を受けたものです。

総務文教委員会

○小学校入学時のランドセル配付事業
旧金光町で行っていた小学校入学時のランドセル配付事業は、保護者にアンケート調査をして、十九年度以降の対応を考えます。

○山佐文庫の寄贈
寄島干拓地に進出する山佐（株）が、寄島地域の小中学校等に五百万円相当の図書を寄贈しました。山佐文庫として活用します。

○広報浅口の有料広告掲載制度の導入
市の新たな財源を確保するために、広報浅口に有料広告を掲載します。市内に住所・事業所がある方が対象で、四月号から掲載する予定です。

民生委員会

○固定資産税課税の変更
鴨方地域の国土調査が全地区完了し、平成十九年度課税の固定資産

産税から全筆国土調査後の面積で課税します。

産業建設委員会

○土木委員の区域の変更
面積、人口、地域性により、金光地域十七人、鴨方地域三十四人、寄島地域は十五人となります。

寄島地域振興及び干拓地開発調査特別委員会

○寄島干拓地内のC地区にフィットサル公式試合のできる人工芝コート二面、夜間照明設備等を備えた施設を整備します。



サンパレアに設置された山佐文庫

一般質問

14議員が市政を問う



香取良勝議員

問 旧鴨方町が行った町道、農道等の単独改良工事は、法で定められた入札を行わず、地区の代表へこの工事を直接発注しています。普通なら市(旧鴨方町)が指名業者を選定します。いったいどのような基準で建設業者を選定したのですか。

旧鴨方町単独改良事業を問う

答 地方自治法に十分合致

答 市長

違法であれば五〇年間続けられるわけがないし、歴代問題を指摘されると思います。また、地方自治法の総則の第一条に、地方公共団体における民主的にして能率的な行政を図るとありますが、その精神に単独改良事業は十分合致していると思います。

税金の無駄使い

問

合併記念について民間からの寄附、市民税、一般財源を幾ら払ったのですか。

また表彰者の選定はどのようにしたのですか。

日中友好事業についても尋ねます。

答 企画財政部長

合併式典の事業費は、二百二十万円強です。

経費については、国または県の合併補助金あるいは交付金の対象となり、一般財源の持ち出しはありません。民間や他の自治体からの寄附はもらっていません。

次に、表彰者の選定は、国の市町村合併功労者総務大臣表彰要領により、浅口市から候補者を推薦し、総務大臣が決定しました。岡山県知事表彰について

は、岡山県表彰規定により県知事が決定しました。

答 教育次長

中国友好都市に、二十五名が研修に行きましたが、議員並びに職員の旅費の支出は、規則等の定めにより支出しています。

これまで積み重ねてきた研修成果は、十分研修者に評価をしてもらっています。

問 金光支所長の居宅が官地を取り込んでいくことについて

答 大室助役

平成七年に境界を確定した関係者等により、その時点に立ち返り検証すべきではないかと考えています。



平田 襄二議員

佐方地区の工業団地計画を問う

答 概算事業費が二百億円を
超える大規模工事

問

工業団地を造成し企業を誘致するのは、地域活性化、地元雇用、人口減少の歯止め、行政の自主財源の確保というメリットがあり、重要な政策です。

事業の取り組みに至った経緯、事業概要、事業費の概算は。

また、どのような企業誘致を考えるのですか。

事業計画地の地元関係者への説明時期は。

また、完成目標年次

までのスケジュールはどうですか。

事業推進のための専門職を配置した部署の設置が必要だと思います。

答 産業建設部長

旧金光町の振興計画で、国道2号玉島笠岡バイパスを活かした無公害型企業を誘致するための大型工業団地の建設が位置づけられていました。合併後も引き続き計画を進めていきます。



工業団地予定地(金光町佐方)

答 吉永理事

事業概要は、六十〜七十ヘクタールの造成を計画しています。工事規模、形状等については環境アセス実施計画等を行い決定します。概算事業費は、造成費約百五十億円、その他、アクセス道路、下水道、水道等の関連事業費を含め、全体で二百億円を超えると考えています。

今後のスケジュールは、地元関係者の方々への事業説明会等を早急に開き、理解を得た上で来年度に測量、実施設計等を行います。

二十年度には、用地交渉に着手、環境アセス及び開発行為許可等を得た後、工事着手となります。

大変な大規模工事であり、工事行程も煩雑となることから、工事に精通した県職員の派遣を県知事に要望していく考えです。

旧金光町の都市計画の見直しは

問

市街化区域と調整区域の線引きの見直し作業の現状はどうですか。

この見直し作業はい

つごろ終え、線引きの外れる時期はいつでしょうか。線引き廃止後、現行の用途地域の指定はそのままにしておくのですか。

答 産業建設部長

市として一体的なま

ちづくりを進めていく

上で都市計画を見直す

必要があります。見直し作業の完了時期は約五年程度必要と考えています。

線引き及び用途指定、用途地域の決定は、県の決定となるので、今後県、国と協議し、市民の意見を聞き決定します。

来年度予算の田主市政の独自性は

問

市は、活力ある安心、安全な思いやりあるまちづくりを目指していますが、田主市政の独自性のある新たな来年度予算編成はどうなるのですか。

答 市長

基本方針として、快適、安心、思いやり、活力あふれる文化創造都

市を掲げています。

浅口市は小さなまちですからあまり大言も吐けないわけであります。できるだけ福祉、あるいは社会保障で手が出せる面を、温かい行政をやりながら、人づくりに力を入れていきたいと思っています。



柚木毅議員

地域で子どもを育てるモデル事業を…

答 子どもを育む行動計画を策定

るためのモデル事業を地域指定して実施し、その事業を各地域に紹介して広めていくことを積極的に進めてもらいたい。

答 教育次長

現在教育委員会としては、子どもを育む行動計画を策定して、その行動計画を全地域に周知したいと考えています。

地域の子どもは地域で守るという共通認識のもと、地域の特色に応じた子どもの育成活動を奨励し、活動の輪をさらに広げ、地域住民が一体となった取り組みに発展するよう積極的に進めていきたい。

答 教育長

九月に家庭、地域、学校、企業、行政が一緒になって「子どもをはぐくむ推進委員会」が、設立されました。地域の方々が自然な形で声が掛け合えるよう、また、

学校としても全力をあげて子どもたちを見つめ伸ばしていきたい。

答 市長

子ども育成条例は画期的であろうかと思うし、誇りに思っています。視点をかえて一つだけ言いますと、今の日本に一番欠けているのは人間らしい感情、豊かな情感だということです。我々も情操を育てるそういう事業はしていますが、モデル

地区を設けて一層進めるのも一策ではないかと思っています。



集団下校する児童たち



桑野和夫議員

介護保険料の減免制度を求む

答 現在は行っていないが検討する

問 四月から改正介護

保険法が全面施行され、要介護度が低いと決められた高齢者は、介護保険で利用できた介護ベッドあるいは車いす、ヘルパーなどが取り上げられています。低所得者には利用料の負担が重いなど「保険あつて介護なし」となり、介護保険は重大な変質を始めています。

浅口市の介護保険料は基準額が四九二〇円で県下第一位です。高額な保険料を抑えるため、一般財源を介護保険財源に繰り入れるなどの方法で市独自の減免制度の実施ができませんか。

高齢者からの介護取り上げの対応として介護ベッドなどのリース

料を助成する考えはありますか。

介護予防などの福祉事業の充実をどう考えますか。

要介護認定や介護度の区分変更申請への対応ができていますか。

答 健康福祉部長

現在、保険料の減免は行っていないませんが、今後健康福祉部内で検討します。

自分のことが自分でできるような形に持っていくというのが法律の趣旨で、決して介護の取り上げではありません。

今年度から、介護予防教室を開催しており、できるだけ介護の要らない形に持っていくと思います。

介護認定の変更は、

症状等が変化した方はいつでも申請できます。また、認定審査会の介護区分の決定に対して、意義の申し立ても受けています。

いじめ問題の対策を問う

答 全力で解決に向けた取り組みを

問 全国的にいじめに

よる子どもの自殺が相次いでいます。市内での公立小中学校でのいじめの状況とまた、今後の対策について尋ねます。

また、いじめが生じた際、学校から早急に報告を受け、適切な指導と連携を行っていきます。

また、いじめが生じた際、学校から早急に報告を受け、適切な指導と連携を行っていきます。

また、総合支所方式をとっていますが、業務の分担で基本的なスタンスはどこにありますか。

答 企画財政部長

アンケートは、現在策定中の浅口市総合計画で実施しています。

総合支所の充実強化は、財政が厳しさを増しており、職員数を増やすことは非常に困難です。今後市の行財政改革全体の中で検討します。

合併後の市政その方向は

問 合併してよかった

と言えるまちを作るためにも、市民アンケートをとり、今後の市政運営に活かしてみてもいいですか。

かもがた町家公園 歴史公園百選の活かし方は

答 定着するイベントを

問 かもがた町家公園が日本の歴史公園の百選に、選ばれました。これをどういうふうに活かしていきますか。

答 市長

これを機会に、町家踊りのような定着するイベントができれば、よりこれが記念に残るのではないかと考えます。

職員の市民対応 マニュアルのその後は

答 接遇向上委員会を設置

問 市民に対する接客マニュアルを積極的に市も考えるということでしたが、その後どうなっていますか。

答 生宗助役

現在各部、総合支所から選抜した職員で構成する接遇向上委員会を設置しており、年度内には完成させ、全職員に配付し、接遇能力を向上したいと考えています。



足湯に期待される本庄地区の源泉(鴨方町本庄)

温泉利用の 進展は

問 浅口市にある三つの温泉の活用でなにか進展はありましたか。

答 市長

特別養護老人ホーム

浅口ハットへ 特例債は 利用できるか

のオペラハウスに本庄地区の温泉を引いており、オペラハウスへ足湯の施設をお願いしまして、理事会でそのことが了承されております。

問

ビッグハットの使用が非常に多いのでもう一つ造ってはどうかというところで、市長は浅口ハットという名前を使っていました。が、合併特例債が使えればやりたいというお考えだったのですが、その後合併特例債の話はどうなりましたか。

答 大室助役

浅口ハットは、今の新市建設計画の策定時に

浅口まつりの 駐車場の不足

は協議をされておらず、この事業が合併特例債に該当するかどうかというのを即断することとは困難なことです。

問 浅口まつりの時には、野球場を駐車場に使っても大変駐車場が不足し困った状態がありました。市としてはどういう考えですか。

答 大室助役

このような行事をビッグハットを中心に開くとすると駐車場が不足すると考えています。将来的には野球場の周辺整備等を行いながら、充足の検討が必要と考えています。

浅口まつりの 継続性は

問 浅口まつりの継続性ということで、基本的な考え方を聞きます。

答 市長

一日の開催であれば、経費の繰越金もあり、ぜひ続けたいと思っています。

六条院西地区の 下水道整備は

答 早くて平成24年度以降に

問 いつ整備できるのか、時間がかかるなら改善の策がありますか。

答 上下水道部長

六条院西地区は現在の認可区域には入っていません。次回以降の認可を受けてからの整備となります。

公共下水道の認可がされていない地区には合併浄化槽の補助があります。



大西 恒夫 議員



中西美治議員

ゴミ収集の統一を

答 統一に向け随時調整

問 ゴミ収集は、当面従来どおり行い、順次統一するとなつていきます。収集方法に変更があつたのか、統一化などの変更を考えていますか。

答 生活環境部長

ゴミの分別方法は、旧町ごとに収集回数が違つており、統一する必要があります。ゴミ処理は二つの一部事務組合で行つていて、統一できていません。調整できるものから随時調整します。

ゴミ減量化に数値目標を

答 数値目標を定めて推進

問 ゴミ一トンあたりの処理料が約一万五千円、住民一人当たり九四〇円との試算があります。ゴミの減量化はゴミ経費の節減になりますか。

答 生活環境部長

ゴミの排出量は年々増加し、減量化には市民の協力が不可欠です。広報紙でゴミの減量、再使用を啓発し、生ゴミ処理機の補助等を通

じ、減量化を進めています。

答 市長

旧鴨方町では、先陣をきつて分別収集に取り組む等、町を挙げて

ゴミの問題に取り組んできました。今、ご提案をもらいましたので、

ゴミの減量化に向けて、数値目標を定めて進めます。

旧寄島町の一斉清掃の復活を

答 平成十九年度以降実施する

問 平成十八年度、旧寄島町では一斉清掃が中止されました。一斉

答 寄島総合支所長

平成十九年度以降は、実施する方向で考えています。実施方法、時期等詳細については、次の環境衛生協議会で決定したい。



減量化のため分別収集を

夏祭りや体育祭の継続を

答 市民の声を聞き検討

問 歴史・伝統ある各町の夏祭りや体育祭等の各種イベントは、地域コミュニティ活動にとって大切な行事です。今後どのように取り組むのですか。

答 産業建設部長

金光の植木祭りに始まり、先日の寄島の海と魚の祭典等々各種イベントは、各種団体、市民の声を聞きながら、市民主体型のイベントを今後検討します。



山田勝則議員

新市になった今こそ、 町づくりの基本原則を 示すべきでは

答 浅口市総合計画を作成中

問 市民の市政への参画、共同のまちづくり、説明責任、情報の共有等、また市民の権利と責務、議会議員、市長や職員の責務を分かりやすく定め、共有するための浅口市基本条例の制定についての考えを問います。

答 市長 全国で約百の自治体で制定している、または制定中で市の憲法というべきものでこれから勉強し、その方向で進んで行きます。

問 普通会計のバランスシートを作成し、公表できるようにしてほしい。

答 市長 一般企業では、この複式簿記を使用しています。国の基準もある中でできるだけ企業に近いものを作りたい。貸借対照表については賛成です。

問 財政事情が年々厳しくなる中、市民のニーズに答えられる行政運営をするために行政評価システムを導入すべきでは。

答 市長 すべての事業を評価、点数化することは、行革を考える上で大変大事なことなので研究させてもらいたい。

問 今後、市民に対して公的活動をお願いすることが多くなる中、市民活動をどう支援し、どう市の役に立っているかを考えをお聞かせください。

答 市長 市民活動は行政の強い味方ですので支援をさせていただきます。新聞、テレビでも地方交付税の大幅減額が報道されており、そういう意味でも知恵を借りながらお互いに頑張りたいと考えています。

問 新市発足後旧町ごとに残っている問題点は。

は。

また旧金光町の都市計画税は早期廃止を。

答 生活環境部長

都市計画税は二十年度まで課税し、二十一年度から廃止します。税率は合併年度は0.2%、その後は0.1%とします。

答 企画財政部長

研修バスについては旧町の制度を引き継ぐ形になっています。安全灯・防犯灯制度はもう少し調整の時間をください。

答 健康福祉部長

放課後児童クラブの件は、利用者負担、預かり時間でそれぞれに差があります。十九年度には統一できると思っています。

入札制度その後は

答 十九年度実施にむけ作業中

問 制限付一般競争入札制度の導入はその後どうなりましたか。

答 企画財政部長 公平性、透明性、競争性を確保できるよう現在作業中です。

また、最低制限価格の算定方法の見直しと高落札率入札調査制度の導入も合わせて、新年度実施に向け検討しています。

地区交付金について問う

問 今年度は地区交付金はどんな事業に交付しましたか。

組織の人口に対し交付金を支出するというものです。

答 企画財政部長

金光町ではふれあい推進事業、鴨方町ではコミュニティ活動、寄島町では地区活動等々、

使途は、地区総会、祭りや地区拠点の維持管理に必要な経費が対象です。



筒井頼昭議員

一人当たりの蔵書数は 文化教養の町かどうかの バロメーターでは

答

現存する建物を、寄島図書館に見合う建物に改修

問 図書館管理の予算が大幅減額になった理由は。

さつき図書館の書棚の空白が多いが増書の計画は、また市民一人当たりの蔵書数は。

答
教育次長

金光さつき図書館がオープンして以後、鴨方図書館とともに図書購入予算が年々減っているためです。

蔵書計画は、予算確保が困難ですが図書館の規模、地域性等を勘案しながら進めたい。

問 司書職員を増員して貸し出しをスムーズにしているのですか。

答
教育次長

財政難の折厳しいと思いますが、利用者に

はできるだけ迷惑をかけないように努めます。

問 寄島の図書室は三分室とも読書する環境

にないので、図書館という器を作ってもらいたい。

答
市長

寄島の図書館設置の件は建てるという約束はできませんが、平成二十年の計画で皆さんに喜んでいただけるよう建物の改修で対応します。

新書の 購入方法は

答
教育次長

新書、新刊本はそれぞれの館の地域性、利用者の需要等を考え図書館流通センターへ発注しています。
参考図書は、学校司書の希望も取り入れて出版社等から直接購入する場合もあります。

盗難、返却の トラブルについてはどうか

答
教育次長

雑誌類はなくなることがあったのでカウンターに置き、直接手渡しています。
盗難対策としては、

答
市長

一冊の本から人生が変わるともあります。
企業の社長の言葉に「人生はレコードのA面（仕事）とB面（人生を豊かにする）のように両面必要だ」というのがあります。



鴨方図書館



金光さつき図書館

問 本市における発達支援の人材育成はどのように考えているのか、

発達障害者支援法の取り組みについて

答 要望を尊重し、積極的な支援を行いたい

山下隆志議員



子どもすこやか連絡会が設置される

発達障害者の子供たちを幸福にしていく情熱ある発達支援のビジョンはありますか。

また、発達障害者支援センターの設置を一日でも早く立ち上げていくべきです。関係部局の連携による適切な支援体制の整備はどうなっていますか。

答 健康福祉部長

教育委員会、健康推進課、子育て支援課が連携し、子どもすこやか連絡会を設置しています。

現状を踏まえ、発達障害児及びその家族の方々に支援したいと考えています。

問 「早寝・早起き・朝ごはん」運動が教育再生の第一歩として全国的に注目されていますが、浅口市でも検討してはどうですか。

答 教育次長

小・中学校では、規則正しい生活リズムを身につけることの大切さ、朝食をとることの大切さやバランスのよい食事を食べることの大切さなどを指導しています。

また、保健だよりや学校通信などを通じて保護者へ啓発しています。

「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進は

答 生活リズムの向上を進めたい

学校現場でのいじめ防止

答 解決には早期発見、早期解決

問 全国的にいじめや虐待が毎日のように発生していますが、浅口市の現状はどうですか。

答 教育次長

いじめの対応としては学校では、教育相談をしたり、子供たちの悩みを把握したり、アンケート調査を行った

り、また家庭に協力を呼びかける文書等も配布をし早期把握に努めています。

スクールカウンセラ

ーやスクールサポーター、養護教諭の職員など専門的な立場の人たちによって、悩みを積極的に受けとめるようにもしています。

次に、児童虐待の相談を受けたケースは、関係機関が連携をし、

ケース会議を開いて対応をしています。対象が幼児、児童・生徒の場合は、幼稚園、小・中学校に見守り依頼をしています。

学校給食の未納問題

問 家庭にゆとりがあるのに給食費を払わない保護者がふえているとの報道がなされていますが、浅口市の現状と対応策は。

答 教育次長

指摘のような問題は

発生していませんが、家庭の都合により、支払いがおくれる場合があります。学校長が立てかえをして、保護者の方から少しずつ支払いをしてもらっています。

電子入札制度の導入を

問 電子入札によるコスト削減効果は明らかであり、浅口市も早期に導入すべきです。

答 生宗助役

電子入札を導入するに当たっては、電子認証機能や入札管理機能などのシステムの開発、運用に多額の経費を要するため、自治体単独での導入は困難な状況です。

業務の効率化の促進、入札の競争性を図る上で、今後は県内の関係自治体と連携をしながら、導入に向けて検討したいと考えています。



道廣裕子議員



広場の整備が望まれる寄島町鏡地区

寄島鏡地区の土地利用は

答 広場整備の要望は検討したい

問 寄島鏡地区の山陽木材株式会社所有の山林を市で買い取って、その地域の方に利用できるとような体制をしてもらいたい。

答 寄島総合支所長

この山林の北側部分の一部を広場として市側で整備してほしいという要望は、今後検討しますが、二ヘクタール全体の処理は、浅口市としての開発計画は現在持っています。

公営墓地の造成は

答 国道2号バイパス工事による
移転と合わせて整備

問 国道2号バイパス

完成予定は、平成二十年か二十一年ごろを目標に進めていく予定で、上竹地区では一五〇基、佐方地区では三五〇基を予定しています。

答 市長

墓地については公平さが重要です。人口比でいけば、金光に二ヶ所、寄島一ヶ所、鴨方二ヶ所程度になります。そのうち早く手を付けられるところは付けられたらどうかと思います。

答 生活環境部長

合併調整で経費削減等を考える中で、現在の方法で行っています。が、不便もあり、個人情報保護の観点から一台ごとの証明書の発行を検討します。

答 市長

家族一括ではなくて、一台ごとということ、これは変更をすぐ実施させていただきます。

軽自動車税の収納 済み通知書を個別に

問 現在個人ごとにまとめて発行している軽自動車税の収納済み通知書を一台ごとに発行してもらいたい。



大西洋平議員

問 学校完全五日制と新学習要領が実施され、四年以上が経過したが、学力の低下の心配はどうですか。

答 教育にはゆとりと優しさも必要ですが、今は厳しく指導することが一番必要ではないですか。

また、学校でのいじめは、なれ合い学級がいじめを誘発しています。なれ合いを避けるには、一人一人の声に注意深く耳を傾け、全

学力の低下等が心配

答 教育内容の厳選と基礎基本を徹底する

体には最低限のルールを示し、違反には厳しい姿勢で臨む必要があると思います。市内各学校の傾向はどうですか。

答 教育次長

現状を見ると、自分の持っているよさや力などを十分に伸ばすことができていない子どもがいます。今後とも、指導の工夫を重ねながら基礎基本を徹底するとともに、豊かな人間性を育む教育活動を大切にしていきます。

答 教育長

なれ合い、管理型学級という言葉で、話がありました。子どもの目線までこちらの目線を下げて、子どもを理解しよう、しかし子どもと同じになつてはだめです。子どもを指導する立場にあるというのを忘れてはなりません。現状は、各学校で取り組んでいます。

耕作放棄地を市民農園に

答 農協等の関係機関とも協議して検討

問

現在多く見られる田畑の耕作放棄地を市民農園として借り上げ、希望者を募り、貸し出し、農地保全に努めたいかどうか。

答 産業建設部長

市内の市民農園は、合計で三箇所あります。農地の荒廃化対策は、苦慮していますが、利

答 市長

用者の希望の意向、耕作放棄の状況、需要と供給のバランス、必要規模等を勘案して、農協等の関係機関とも協議しながら検討したい。

農地保全、農業振興、担い手育成等々、非常に価値ある意義ある事業だと思います。

温水プールの建設を

答 財政事情等を勘案して難しい

問

健康管理のためにプールを利用している人が非常に多くなっています。市内に温水プールを造ってもらえないですか。

答 教育長

年間を通じての温水プールを利用した水中運動は効率的で、体力づくり、健康増進に有

用と考えます。ただ、現在策定されている新市建設計画には組み込まれていません。

また、市内に設置するとすると、規模によりますが、試算で約五億円程度必要です。現在の財政事情等を勘案すると、難しいと思います。

院六条町方鴨島地区に公共下水道接続を



遊休地利用の市民農園

問

三町合併を機に公共下水道を寄島に接続し、鴨方町六条院西地区に早急に工事ができないか。

答 上下水道部長

六条院西の一部の地区を除き、ほとんどの地区が、寄島処理区とは逆の方向に低くなっています。そのため圧送管、圧送ポンプ等の設備が必要となり、非常に経費が高つくので、接続は難しいと考えています。

新入学児童への ランドセルの無料配付は

答 いままでどおり配付を



金光地域で使われている
ランドセル

高橋吉之助議員



問 小学校新入学児童

に対して、旧金光町ではランドセルを無料配付していました。合併して、いいことはそれぞれ独自でやっていた町のまねをしましょう、悪いことは切り捨てましょうというのが合併の趣旨だったと思うのです。

よって、今年は新入児にランドセルを浅口市で無料配付するのでしょうか。

答 教育長

金光町の小学校に入学する子供たちには、今までどおり黄色のランドセルを無料配付します。

答 市長

鴨方、寄島の入学する子供たちには入学準備のための学用品を購入する補助としての助成金をと考えています。

金光町のランドセルは、未来永劫というわけにはいきませんが、当分の間はやります。

ワンコインバスの その後の経過は

問

ワンコインバスについて、この前も私がお願いしましたら、勉強することでしたが、その後の経過を知らせてください。

答 市長

ワンコインバスの要望ですが、私の任期中に頼むという要望でした。

ただいま企画振興課長を中心に勉強中ですので、二年ないし三年の間には前向きな結論が出ると思います。

学童保育支援事業対策を問う

答 健康福祉部、教育委員会の連携プレーで



原 彰議員

問 学童保育の指導者の方が、

子ども一人一人に目が行き届くように指導員の数を増やしてもらえないか。このことはすべての保護者の願いだと思います。

学童保育支援事業についてどのような対策がとられていますか。

問題点は何ですか。

今後はどのような対策を施していくのですか。

答 健康福祉部長

現在、浅口市内には七つの小学校区があり、そのうち六つの小学校に児童クラブがあります。

児童クラブは保護者から徴収される負担金で運営されていますが、それだけでは保育指導員の賃金などを賄うことができません。

そのため、浅口市から補助金を交付し、財政的に支援をしています。

また、六条院小学校では今年度、改築に伴い空き教室が利用できなくなったので、仮設施設を用意し、新たに児童クラブ室を建設しています。

共働きの家庭が増え、児童クラブを利用する児童数は増加傾向にあります。

特に夏休み期間中は多くの申し込みがあるため、保育施設の教室や保育指導員の確保が問題となっています。

各児童クラブが、今後小学校施設の空いているスペースを、できるだけ利用できるように教育委員会との協議をしていきたいと考えています。

また、指導員の確保は、賃金等の増額を行うなどの方法があり、必要となる財源の確保をできる限りしていきたいと考えます。



仮設教室で学童保育を行っている六条院小学校



藤澤健議員

いじめに対する取り組みは

答 早期発見・早期対応が重要

問 いじめに対してどう取り組みようとしているのか、学校ではいじめは絶対に許さないという教育をどの場面で、どの程度していますか。

また、子供が発信するサインを見落とさないように、どのようなことに気をつけて対応していますか。

答 教育次長

道徳や学級活動の授業でいじめに関する題材や命の大切さ、人のかかわり方などの教材を取り上げて学習をしたり、いじめは絶対に許さないという意識を、教職員、児童・生徒自身に教育していくよう取り組んでいます。

また、子供が発信するサインを見落とさないように、教職員は朝の登校の様子や表情に気を配ったり毎日の健康観察の中で変化を見逃さないようにしていますし、教育相談や保護者懇談の中など

から情報を得るようにしています。

ゆとり教育の問題の対応は

答 自主的に考え、行動する子を育成したい

問 多くの弊害が出てきたと言われている学校週休二日制はやめて、土曜日半日は授業をしてはどうでしょうか。

また、音楽、美術、技術、家庭科などの人間形成に非常に大切な科目をしつかりと教えているのかお尋ねします。

答 教育次長

基礎基本を徹底し、自主的に考え、行動できる

子を育成することが重要で、授業をより充実していくことや、豊かな体験活動をすることも重要であると考えています。

全市にランドセル配付を

答 19年度は配付を行う

問 旧金光町で行っていた、小学生入学時の黄色のランドセル配付を全市に継続するよう要望します。

答 教育次長

平成十九年度は、金光地区の小学校に入学する児童にはランドセルを配りますが、寄島、鴨方地区の新生児にはそれ相当の入学準備助成金を交付することを考えています。

かもがた町家公園 日本の歴史公園百選に

平成10年10月に開園したかもがた町家公園(鴨方町鴨方)は、江戸時代の岡山藩と鴨方支藩を結ぶ官道「旧鴨方往来」沿いにあり、修復された二棟の町家、倉、伝統植物園や芝生公園をあわせもつ、歴史的景観を残す憩いの公園です。

公園の中核となる町家「伝承館(旧高戸家住宅)」は、発見された棟札から、貞享4年(1687)に修理をした県下で最も古い貴重な町家で、「岡山県重要文化財」に指定されています。

高戸家は、油商等を営む傍ら、鴨方藩主の宿泊所や江戸時代の文人たちの交流サロンとしても使われた由緒ある町家で、当時の建築技術を見学できる建築博物館にもなっています。



大橋利夫氏

昨年(昭和五十六年)の秋の叙勲で、元金光町議会議長の大橋利夫氏が、旭日双光章を受賞しました。大橋氏は、昭和二十六年に金光町議会議員に当選し、金光町が浅口市に合併するまでの十六期、四十七年六か月の間、議員に在職しました。議長にも五年間就任し、地方自治の発展に尽くしました。

大橋利夫氏に 旭日双光章

浅口市内の国道2号バイパスは、平成十年にルート発表があり、十二年一月には金光町内で、二月には鴨方町内で事業説明会が開かれました。その後の現地調査を経て、平成十八年二月に金光町大谷地区の用地買収をしています。今後は、須恵、佐方、鴻ノ巣、北平地区の用地買収を予定しています。

十一月六日、国道2号玉島笠岡道路(国道2号バイパス)の整備促進のため、田口議長が上京し、国や国会を訪ね、事業の早期実現を要望しました。この要望は、笠岡市、浅口市、倉敷市、里庄町でつくる整備促進協議会の活動として行ったもので、田主浅口市長、高木笠岡市長らとともに、国土交通省道路局や議員会館に地元選出国會議員を訪ねました。



国会議事堂にて

田口議長、国道2号バイパス
促進要望で上京

道井永田竹平
廣上原口本田襄
裕邦知桂幸二
子男康一郎久

委員長 山下隆志
副委員長 山田勝則
委員 山田勝則

編集：広報委員会

次の議会は、三月六日から二十三日までの十七日間を予定しています。一般質問が行われるのは、三月十二日から十四日までの三日間で、九時三十分からです。市役所三階の議会事務局で、傍聴券を渡します。お気軽にお越しください。(傍聴が多数の場合は、入場制限する場合があります。ご了承ください。)

3月議会の
お知らせ
(予定)



議会だよりは再生紙を使用しています。